

8 郵便局と災害時の協力協定締結

市内外 8 郵便局と「災害発生時における多久市と多久市関係郵便局の協力に関する協定」を結びました。郵便局のネットワークを生かした情報提供、集配車両や人員の提供など必要な災害対応を円滑に行うことを目的としたものです。北多久郵便局の坂口一哉局長は「現在、市内 7 郵便局と武雄郵便局支店 1 局合わせて約 50 人の局員が勤務しており、災害時は郵便局のネットワークを生かして協力したい」と話されました。

Monday
4/4



▶ 新入生を代表して誓いの言葉を述べる 7 年生の石丸巧さん



Saturday
4/12

～1年生と7年生、入学おめでとう！～ 小中一貫校 東原庫舎 3校で入学式

4月12日（火）、市内 3 校で小中合同入学式が行われました。このうち西溪校では、1 年生 32 人が 6 年生に手を引かれ入場し、7 年生 43 人は緊張した面持ちで入場しました。

吉崎泰校長が「同じ校舎で 1 年生から 9 年生が過ごします。1 日でも早く学校に慣れ、みんなと仲良く過ごしてほしいと思います。学校、家庭、地域がそれぞれの役割をしっかりと果たしつつ、子どもを中心として連携していくことが大切だと思います」と式辞を述べました。

誓いの言葉では「これまでの先輩たちの姿を見ながらこれからの新しい西溪校を作り上げ、西溪校の児童生徒として誇りをもって努力することを誓います」と 7 年生を代表し石丸巧さんが堂々と誓いました。



◀ 緊張した面持ちの新入生の様子

「平成28年 熊本地震」へ市民が協力 善意の支援物資を送りました

多久市社会福祉協議会、佐賀ユネスコ協会、多久市保育協議会、多久市商工会青年部、多久市地域婦人連絡協議会（4月18日時点）が協力して「平成28年（2016年）熊本地震」への支援物資を届けるプロジェクトを立ち上げました。

これは、東日本大震災発生時に石巻市の保育園に物資の支援を行った経験をもとに、地震発生直後に多久市保育協議会の金ヶ江和文さんが「九州で起こった災害で何もしないわけにいかない。困っている人を助けよう！」と呼びかけたものです。

4月18日に県内から集められ、多久市社会福祉協議会倉庫に届けられた支援物資を被災地に送り出しました。

この支援物資の搬送に、多くの市民組織が参加し活動しました。

Monday
4/18



▶ 18日に集まった物資



◀ 集まったボランティアのみなさんが物資を運ぶ様子